

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 17 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2009～2011

課題番号：21530373

研究課題名（和文）

老舗同族企業経営問題に関する日仏比較研究を通じた事業承継リスクマネジメントの提案

研究課題名（英文）

Proposal of Business Succession Risk Management based on Comparative Study between Japan and France concerning Traditional Family Business Management Issue

研究代表者

亀井 克之 (KAMEI KATSUYUKI)

関西大学・社会安全学部・教授

研究者番号：10268328

研究成果の概要（和文）：

毎年、中小企業が、後継者不足を理由に廃業している。老舗企業、同族企業の多くが中小企業である。社会問題化している事業承継問題について、本課題研究では、①リスクマネジメント理論の活用と、②現地調査に基づく日仏比較研究という、独自の手法によって研究を進め、最終年度における「中小企業の事業承継・日仏シンポジウム」主催を中心とする成果をあげて、事業承継におけるリスク・コミュニケーション（「事業承継にはどのようなリスクがあるのか」「そのリスクにどう対応するのか」に関する共通理解）の重要性を提言した。

研究成果の概要（英文）：

Every year, a number of SMEs disappear because of the difficulty in succession. Most of long lived firms and family firms are SMEs. With regard to business succession issue as a social problem, this research project carried out the research by utilizing (1) a theoretical framework of business risk management and (2) a comparative study between Japan and France. Having realized its biggest output which was “Symposium on SME Business Succession in November 2011, this project pointed out as a conclusion the importance of business succession risk communication (“What kind of risk exists in business succession?” “How do SMEs cope with those risks?”)

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	700,000	210,000	910,000
2010年度	700,000	210,000	910,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：

科研費の分科・細目：社会科学・経営学

キーワード：老舗企業 同族企業 中小企業 事業承継 リスクマネジメント 日仏比較

1. 研究開始当初の背景

(1) 中小企業の事業承継問題の状況

本課題研究の主たる研究対象となる老舗・同族企業の大半が中小企業である。「今後10年間で、半数以上の中小企業経営者が高齢による引退の時期を迎える。一方、後継者不足により、毎年、7万社の中小企業が廃業している。約20万人の雇用が失われて

いることになる。」（事業承継協議会報告書）

高齢化社会が進行する日本においては、中小企業経営者の高齢化が急速に進行しており、深刻な社会現象となりつつある。具体的には、中小企業の事業承継問題として、これが顕在化してきた。企業数で9割、雇用者数で7割を占め、新たな技術やサービスを生み出す苗床として、量と質の双方の面で日本経済のダ

イナミズムの源泉となっている中小企業が、事業承継を円滑に行えず、最悪の場合、廃業してしまえば、それは大きな社会経済的な損失となってしまいます。

(2) 日仏比較研究の意義

我が国では、政府がさまざまな施策を打ち出す中で、老舗・同族企業ならびに中小企業の事業承継は経営者の死亡や相続といった個人的な問題であると考えられ、学術的な研究の対象とはなっていないのが現状である。先進国を対象とした調査で、開業率の低さ(起業家精神の衰弱)という、日本と共通の現象が見られるフランスにおいても、事業承継の促進の必要性が叫ばれ、日本と同様に、これが社会問題化している。

一方、フランスでは、1990年代の後半から、老舗企業・同族企業・中小企業の事業承継が、学術的研究の対象として完全に定着している。これは政府が諸政策を打ち出すのと歩調を合わせてきた。

こうした状況から、老舗企業・同族企業・中小企業の事業承継問題について、政策面についての日仏比較研究、学術的研究面においてフランスの豊富な既存研究に学ぶことは大いに意義がある。

本研究代表者は、関西大学の在外研究制度により、2005年9月から2006年8月まで、モンペリエ第一大学経営学部・産業企業研究班ERFIの客員研究員を務め、マルシェネ名誉教授やオリビエ・トレス教授をはじめとする中小企業研究者や老舗・同族企業研究者と研究交流をもった。

また、本研究代表者は、2006年3月にドーブルで開催された事業承継に関するシンポジウムにおいて、「二代目経営のリスクマネジメントー日本における理論的枠組みと事例ー」のテーマで研究発表を行い、これを皮切りに日仏両国間の研究交流を深めてきた。

このように日仏比較研究の土台作りを着実に構築してきた。

(3) リスクマネジメントの視点

老舗企業・同族企業・中小企業の事業承継問題は、事業承継をめぐるリスクとそのマネジメントの問題として把握できる。本研究代表者が取り組んできたリスクマネジメント理論研究の知見が大きく活用される。

(4) 老舗企業・同族企業をめぐる特性

老舗企業・同族企業に焦点をあてて、本研究の背景をまとめると以下のように挙げできる。

「日本では、同族経営・ファミリー企業には、マスコミによる企業不祥事の温床としての否定的な見方が強く、一般的にも、学術研究においても、正当な扱いを受けているとは言い難い」「日本経済では同族企業が重要な位置を占め、中小企業の大多数は同族企業である」「創業100年以上の老舗企業の数で、日本は他国を凌駕している」「ファミリー企業における最大のビジネス課題が事業承継である」「老舗企業の大半を占める同族中小企業の事業承継問題は、日本では学術的研究の対象とはなっていないが、フランスでは、学術的研究の対象として完全に定着している」

2. 研究の目的

本課題研究では、

- (1) リスクマネジメントの理論の活用と
- (2) 日仏比較研究を通じて、老舗企業・同族企業、ひいては中小企業の「事業承継リスクマネジメント」についてのコミュニケーション(リスク・コミュニケーション) ツールを開発・提案することを目的とする。

「事業承継リスクマネジメント」モデルは次に示す3点から構成される。

①事業承継の各ステージにおけるリスクの調査・確認(リスク洗い出し) チャート

②事業承継の各ステージにおけるリスクの評価・分析図(リスク・マップ)

③事業承継の各ステージにおけるリスク対応(リスク処理手段の実行) チャート

これらは、事業承継について、どのようなリスクがあるか、そのリスクにどのように対応するかについての共通理解のためのツールである。

(3) 初年度においては、事業承継リスクの「調査・確認と評価・分析」に関わる部分の研究に注力する。

そのため、具体的には、3点のチャートのうち、1番目の「事業承継の各ステージ毎のリスクの調査・確認(リスクの洗い出し)チャート」と、2番目の「事業承継の各ステージにおけるリスクの評価・分析図(リスク・マップ)」の作成に全力を尽くした。

(4) 第2年度においては、初年度に実施した事業承継リスクの「調査・確認と評価・分析」の研究に基づいて、事業承継リスクに対してどのように対応するかを研究する。

具体的には、「事業承継の各ステージにおけるリスク対応(リスク処理手段の実行)モデル」の策定に全力を尽くした。

3. 研究の方法

- (1) インターネットによる情報収集,
- (2) 日仏文献調査,
- (3) 国内の研究者交流による情報収集,
- (4) 国内の学会参加と研究報告,
- (5) 日本における聴き取り調査,
- (6) 欧州規模の学会参加と研究報告,
- (7) フランス語圏の学会参加と研究報告,
- (8) フランス行政機関訪問調査,
- (9) フランスにおける資料収集,
- (10) フランスの研究者との交流,
- (11) 諸外国の研究者との交流,
- (12) フランスにおける聴き取り調査,
- (13) 国内の学会発表原稿執筆,
- (14) 世界規模の学会発表原稿執筆,
- (15) フランス語圏の学会発表原稿執筆,
- (16) 国内学会誌への原稿執筆,
- (17) 図書執筆,
- (18) フランス語文献翻訳,
- (19) 日仏研究交流コーディネート,
- (20) シンポジウム企画。

(1) ~ (20) の研究方法を用いて、

①老舗企業・同族企業・中小企業の事業承

継にはどのようなリスクが存在するか、
②それらリスクにどのように対応するか、
という2点を中心にして、
リスクマネジメントの観点から「老舗企業・同族企業・中小企業の事業承継問題」に関するリスク・コミュニケーションのツール（①チャート、②モデル図、③簡潔な表現の論文、④わかりやすい図書、⑤フランス事情を伝える論文や翻訳書を作成する。

- (1) 初年度の研究方法のポイント
情報収集、訪問調査と日仏比較研究を通じたリスク・マップ作成の際の要点は次の通りである。
－各ステージ毎に列挙した事業承継リスクを深刻度と発生頻度を軸に振り分け記載。
－各ステージ毎のヒューマン・リスク（経営者リスク、心理リスク）を深刻度と発生頻度を軸に振り分けてリスク・マップに記載。
－各ステージ毎のフィナンシャル・リスク（経営者リスク、心理リスク）深刻度と発生頻度を軸に振り分けてリスク・マップに記載。

- (2) 第2年度の研究方法のポイント
情報収集、訪問調査と日仏比較研究を通じたリスク対応モデル作成の際の要点は次の通りである。
－各ステージ毎のリスク・コミュニケーションの手段の列挙と詳説。
－各ステージ毎のヒューマン・リスクに対するリスク・コーディネート手段の列挙と詳説。を－各ステージ毎のフィナンシャル・リスクに対するリスク・コントロールとリスク・ファイナンスの手段の列挙と詳説。

4. 研究成果

日常的な日仏文献研究、情報収集に加えて、2009 夏に敢行した現地におけるインタビュー調査と研究者交流を皮切りに研究を進め、2011 年秋にフランス経営学界における事業承継問題研究の第一人者であるベランジェール・デシャン氏をはじめとする三人の研究者を日本に招いて「中小企業の事業承継・日シンポジウム」を東京と大阪で開催するという最大の成果をあげた上に、多数の学術論文、学会発表、図書刊行という顕著な成果をあげた。

(1) 国内学会での発表

2009年5月29日にファミリービジネス学会と日本リスクマネジメント学会の合同研究会において「ファミリービジネスと事業承継問題」の研究報告を行った。

(2) フランスにおける現地調査

2009年8月にフランスで調査を行い、企業訪問と研究者交流を実施した。
フランス経済紙レゼコー紙の「事業承継問題」特集記事を執筆したミシエル・マルシエネ教授と、フランス中小企業研究史を纏めたオリビエ・トレス教授と両氏と直接面談して意見交換した。
南フランスプロバンス地方とラングドック地方の伝統的産業の経営者インタビュー

を実施した。

(3) オリビエ・トレス教授を招へい

2009年6月から7月にかけての1か月間と2010年の9月の1週間という2度にわたり、フランス中小企業学界で現在最も注目されているモンペリエ第一大学のオリビエ・トレス教授を日本に招き、同族企業と中小企業の経営課題について研究交流を行なった。共同で全国各地で「同族企業とワイン産業」をテーマに学術講演会を企画した。

これは同族企業の経営課題を描いたフランスにトレス教授の著作を2009年3月に関西大学出版部より『ワイン・ウォーズ：モンダヴィ事件－グローバル化とテロワール』として刊行したことに基づく。
本書は、米国カリフォルニア州のワイン産業大手でモンダヴィ家のファミリー企業であるモンダヴィによる南仏進出計画の失敗を題材にしている。モンダヴィにおけるファミリー企業としての課題が描写されている。同時に、モンダヴィの進出計画反対の旗頭となった南仏の地元ワイン醸造農家ギベールのファミリー企業の姿が対比して描かれる。
ファミリー企業における事業承継の難しさ、中小企業と地域経済の関わりについて、本作品と本作品翻訳作業より大きな示唆を受けた。

2009年夏の現地調査においては、本作品の舞台となった南仏ラングドック地方ならびにプロバンス地方の中小企業経営者にインタビューを行った。

(4) 国内研究者との交流

上記学会を通じて日本におけるファミリー企業と、ファミリー企業の課題である事業承継問題研究の第一人者で、日仏比較研究を展開している倉科敏材・甲南大学教授や日本大学の階戸照雄教授らと研究交流を行った。

(5) 国内学会全国大会主宰

リスクマネジメントと日仏比較研究に関して、それぞれ学会の全国大会の実行委員長を務めた。

2010年9月18日と19日に実行委員長として日本リスクマネジメント学会第34回全国大会を企画実行した。

また2011年5月8日に実行委員長として日仏経営学会第57回全国大会を企画実行した。

(6) フランス語圏国際学会への参加と研究報告

2011年10月12日～15日までパリで開催された第7回 Academie de l'Entrepreneuriat et l'Innovation (AEI フランス起業家活動・イノベーション学会)においてセッションでの研究発表とラウンドテーブルでの発表を行いました。
テーマは「中小企業経営者のメンタルヘルス」である。

(7) 世界規模の学会参加と研究報告

2010年9月6日～8日にスイスのサンクト・ガレン大学で開催される「サンクト・ガレンの集い」（スイス国際中小企業学会）で日本の中小企業政策に関する発表を行った。
この学会参加を通じて、世界中の代表的な中小企業研究者と意見交換した。

(8) 海外の学術雑誌の論文掲載

世界の中小企業学界で著名なニュージランドのレオ・ポール・ダナ教授と共著で論文を海外の学術雑誌に掲載した。

Business Incubation and the Pursuit of Opportunity: Focus on Kobe
Journal of Asia Entrepreneurship and Sustainability Vol VI, Issue 2, December 2010, – Refereed Edition, pp.3-17.

(9) 著作の刊行

2011年3月に『リスクマネジメントの基礎理論と事例』（関西大学出版部）を刊行した。

(10) 国内学会誌研究論文執筆

日本リスクマネジメント学会誌『危険と管理』等の学術雑誌に研究論文を執筆した。執筆した論文は2種類に分類できる。

- ① 老舗企業・同族企業・中小企業の事業承継問題を扱った論文：老舗企業・同族企業・中小企業の事業承継問題に係るリスクの特徴、政策の動向、日仏比較を試みた論文。
- ② 企業のリスクマネジメントにおけるリスク情報の開示を扱った論文：リスク情報の開示を企業によるリスク・コミュニケーションと捉えて、具体的な事例を分析した論文

(11) 「中小企業の事業承継・日仏シンポジウム」を責任者として企画し開催した。

2011年度日本中小企業学会の関西部会と全国大会の両方で「フランスにおける事業承継問題研究の展開」のテーマで研究報告した上で、発起人、企画責任者、実行委員長として「中小企業の事業承継・日仏シンポジウム」を開催した。

【テーマ】フランスからの示唆：研究者はどのように事業承継問題に学術的にアプローチすればよい？産学連携：実務家と研究者の連携をどのように進めればよい？

【開催意義】中小企業の事業承継問題は日仏両国において社会問題化しており、両国政府はさまざまな政策を打ち出してきた。この問題は、日本では、税理士等の実務家の領域であり、学術的研究の対象とはなっていない。一方、フランスでは事業承継が学術的研究のテーマとして確立されている。欧州で事業承継の学術的研究が最も進んでいる国である。本シンポジウムにおいて、フランスで事業承継問題の研究をリードしてきた3人の経営学研究者を招いて研究交流を行ったことは大変有意義であった。

中小企業の事業承継問題をテーマとした、日本における初めての国際シンポジウム開催となった。

【主催】関西大学、日仏会館、日仏経営学会、ファミリービジネス学会

【プログラム概略と報告者】

開会の辞：山本英一（関西大学学長補佐）
総合司会：亀井克之（関西大学社会安全学部教授）

日本側基調講演：大西正曹（関西大学社会安全学部 教授）

フランス側基調講演：ベランジェール・デシャン（グルノーブル大学 IAE 准教授）

中小企業の事業承継報告

① 村上義昭（日本政策金融公庫 総合研究所主席研究員）

② 中小企業の事業承継報告②：
ソニア・ブサゲ

（ランス・マネジメントスクール 教授）

老舗ファミリー企業の事業承継報告

① 階戸照雄（日本大学大学院 教授）

老舗ファミリー企業の事業承継報告

② カティア・リショム・ユエ

（ユーロメッド・マルセイユ 准教授）

【シンポジウムにおける提言】・大西正曹（日本側基調講演）：東大阪の小企業は危機。親の仕事を持って早くから後継者に引き継ぎ、誇りを持つような場づくりの必要性や、伝統を守りつつも、後継者による第二創業と言えるような価値創造が有益。

・ベランジェール・デシャン（フランス側基調講演）決断→事業承継→移行期→事業の完全掌握という各段階にふさわしい支援を検討する必要性。

・村上隆昭：フランスからの示唆4点。①支援内容が多様で相互に関連しあうことで効果を出している、②データベースが質・量ともに充実している、③雇用や地域経済の活力を維持するために事業承継を支援するという社会的コンセンサスがある、④仲介手数料が安い。

・ソニア・ブサゲ：企業への融合の過程で、承継者が抱く心理的負担を軽減する環境の構築が重要。

・階戸照雄：共に老舗企業が多く存在する両国の比較研究の意義。

・カティア・リショム・ユエ：ファミリー企業・老舗企業の独自性の評価。

【東京会場におけるシンポジウム開催】

2日目の11月9日に東京・日仏会館において、同じ内容のシンポジウムを開催した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計23件）（査読有5本）

① 亀井克之, 311後のビジネス・リスクマネジメント下の基礎的概念と事例, 神奈川大学国際経営研究所『マネジメント・ジャーナル』, 査読無, 2012, pp.45-63

② 亀井克之, 中小企業の事業承継・日仏シンポジウムについて, 関西大学社会安全学部紀要『社会安全学研究』査読無, 2012, 第2号, pp.111-112

③ 亀井克之, 中小企業の事業承継・日仏シンポジウムについて, ソーシャル・リスクマネジメント学会会報『実践危機管理』, 査読無, 2011, pp.13-14

④ 亀井克之, フランスにおける保険マーケティングの動向, 『保険学雑誌』, 査読無, 第615号, 2011, pp.147-166

⑤ Hiroki OGYU, 亀井克之, Olivier TORRES, Shinya KANEKO, La santé mentale en tant que gestion des risques, Acte du 7e Congrès de l'Académie de l'Entrepreneuriat et de l'Innovation, Risque, échec et réussite, 査読有, 2011, pp.1-20

⑥ 亀井克之, 中小企業の危機管理とBCP, 『商工金融』, 査読無, 61巻9号, 2011, pp.75-95

⑦ 亀井克之, 東日本大震災による学校の被災について, ソーシャル・リスクマネジメント学会会報『実践危機管理』, 査読無

- ，第24号，2011，p.98-103
- ⑧ 亀井克之，リスクマネジメント 先送りされてきた2つの懸案、『日経ビジネスアソシエ』(『徹底予測 日本の復興』)，査読無，2011，pp.76-77
- ⑨ 亀井克之，Chris BELOUAD, Hiroki OGYU，Un regard sur la santé mentale des dirigeants de PME, Bulletin de la société franco-japonaise de gestion, 査読無，Vol.28, 2011, pp.47-52
- ⑩ 金子信也 尾久裕紀 オリビエ・トレス 亀井克之「リスクマネジメントの観点から見た中小企業経営者・個人事業主のメンタルヘルス」『社会安全研究』，関西大学社会安全学部，査読有，2011，pp.85-96
- ⑪ Shinya Kaneko, Hiroki Ogyu, Olivier Torres and 亀井克之, "Mental Health of Managers of Small and Medium Enterprises as Seen from the Viewpoint of Risk Management", *Journal of Disaster Research*, 査読有，Vol.6 No.2, 2011, pp.204-211
- ⑫ 亀井克之 尾久裕紀 オリビエ・トレス 金子信也，中小企業経営者のメンタルヘルスとリスクマネジメント，『危険と管理』日本リスクマネジメント学会，査読無，第42号，2011，pp.7-23
- ⑬ 亀井克之，事業承継問題とリスクマネジメント，『実践危機管理』ソーシャル・リスクマネジメント学会，査読無，第23号，pp.92-96
- ⑭ 亀井克之，事業承継問題とソーシャル・リスクマネジメント ーりそな銀行による事業承継支援事業について，『実践危機管理』ソーシャル・リスクマネジメント学会，査読無，第22号，2010，pp.75-78.
- ⑮ 亀井克之，Transmission des PME et Gestion des risques liés au management par la deuxième génération, Bulletin de la Société Franco-Japonaise de Gestion, 査読無，Vol.27, 2010, pp.16-27
- ⑯ 亀井克之，企業におけるリスクマネジメント基本的概念，『運輸と経済』，査読無，2010年1月号 第70巻第1号，pp.12-22.
- ⑰ 亀井克之，リスク管理30年の変遷，『日経ビジネス マネジメント』査読無，Autumn 2009 Vol.007, p.70-73
- ⑱ Boris BARTIKOWSKI 亀井克之 Jean-Louis CHANDON，A verbal rating scale to measure Japanese consumers' perceptions of product quality, *Asia Pacific Journal of Marketing and Logistics*, 査読有，Vol.22, 2010年，pp.179-195
- ⑲ 亀井克之，2008年度スイス国際中小企業学会に参加して，『実践危機管理』，日本リスク・プロフェッショナル学会，査読無，第20号(創立15周年記念号)，2009，p.113-115
- ⑳ 亀井克之，Pursuit of Opportunity and Business Incubation - A Case Study on Entrepreneurs at Kyoto Research Park, Rencontre St. Gallen 2010, 査読有，2010, Universitat St. Gallen
- 21 事業承継問題とリスクマネジメント，『実践危機管理』，日本リスク・プロフェッショナル学会，査読無，第19号，2009，pp.81-86
- 22 亀井克之 吉野茂，医療機関におけるリス

- クマネジメント ーリスクマネジメントとしての臓器移植体制整備ー，小野元編『移植医療における臓器提供システムー安全で適切な提供にむけてー』聖マリアンナ医科大学，査読無，2009，pp.7-39
- 23 Boris BARTIKOWSKI 亀井克之，A Thurstone Scale to Measure Consumers Perceptions of Product Quality in Japan, 『情報研究』，関西大学総合情報学部紀要，査読無，第31号，2009，pp.107-113

[学会発表] (計23件) (招待講演3件)

- ① 亀井克之，リスクマネジメントによる企業価値向上，UR企業価値向上セミナー，2011年11月29日，ヒルトンプラザ・ウェスト
- ② 亀井克之，Transmission et Reprise des PME (総合司会・問題提起) 中小企業の事業承継・日仏シンポジウム，2011年11月11日，関西大学千里山キャンパス
- ③ 亀井克之，Transmission et Reprise des PME (総合司会・問題提起) 中小企業の事業承継・日仏シンポジウム，2011年11月9日，東京日仏会館
- ④ Hiroki OGYU, 亀井克之, Olivier TORRES, Shinya KANEKO, Acte du 7e Congrès de l'Académie de l'Entrepreneuriat et de l'Innovation, Risque, échec et réussite, 2011年10月13日，Advancia-Negocia, Paris
- ⑤ Olivier TORRES, Hiroki OGYU, 亀井克之, François ANTONIOU, Mathias ROSS, Table ronde «Les risques de santé des entrepreneurs: de l'échec pathogène à la réussite salutogène», 2011年10月13日，Advancia-Negocia, Paris
- ⑥ 亀井克之，フランスにおける事業承継問題研究の展開，日本中小企業学会 第31回全国大会，2011年10月2日，兵庫県立大学
- ⑦ 亀井克之，フランスにおける保険マーケティングの現状，日本保険学会関西支部，2011年9月24日，龍谷大学大阪梅田キャンパス
- ⑧ 亀井克之，統一論題・司会兼問題提起「311後のリスクマネジメントを考える①地域社会と子どもの安全」日本リスクマネジメント学会第35回全国大会，2011年9月10日，白梅学園大学
- ⑨ 亀井克之，フランスにおける事業承継問題研究の展開，日本中小企業学会関西支部，2011年7月9日
- ⑩ 亀井克之，パネルディスカッション「東日本大震災とリスクマネジメント」日本リスクマネジメント学会関東支部，2011年7月2日，専修大学
- ⑪ 吉野茂，亀井克之「臓器提供に求められるソーシャルリスクマネジメントの展開」第44回 日本臨床腎移植学会，2011年1月27日宝塚ホテル
- ⑫ 亀井克之，リスク・コミュニケーションゲーム「クロスロード」フランス語版開発について，日仏経営学会第57回全国大会，2011年5月7日，関西大学高槻ミュージックキャンパス・社会安全学部
- ⑬ 亀井克之，中小企業とソーシャル・リスクマネジメント，関西大学産官学・金融連携セミナー，2011年3月2日，堺市産業振興センター
- ⑭ 亀井克之，Pursuit of Opportunity and Business Incubation - A Case Study on Entrepreneurs at Kyoto Research Park,

- Rencontre St. Gallen 2010, September 6-8, 2010, Universitat St. Gallen, Switzerland
- ⑮ オリビエ・トレス 亀井克之, EUにおける中小企業経営者のメンタルヘルス—AMAROKの活動を中心に, 日本リスクマネジメント学会第34回全国大会, 2010年9月18日, 関西大学 高槻ミューズキャンパス 社会安全学部
- ⑯ オリビエ・トレス 亀井克之, グローバリゼーションとテロワール, 日本中小企業学会 関西西部会, 2009年7月11日(土), 兵庫県立大学神戸キャンパス
- ⑰ オリビエ・トレス 亀井克之, ワイン・ウォーズ: モンダヴィ事件—グローバリゼーションとテロワール, 大阪日仏センター アリانس・フランセーズ講演会, 2009年7月3日(金), 大阪日仏センター アリانس・フランセーズ
- ⑱ オリビエ・トレス 亀井克之, ワイン産業の危機とファミリービジネス: 米国モンダヴィ社の南仏進出計画失敗をめぐって, 日本リスクマネジメント学会・ファミリービジネス学会 合同研究会特別講演(関西大学総合情報学部講演会), 2009年6月27日(日), 関西大学千里山キャンパス
- ⑲ オリビエ・トレス 亀井克之, ワインをめぐる戦い, 東京 日仏会館 講演会, 2009年6月25日(木), 東京日仏会館
- ⑳ 亀井克之, ワイン・ウォーズ: モンダヴィ事件—グローバリゼーションとテロワール, 神戸大学経営学部 加護野忠男教授 企画 アーリーライザーズ・クラブ 招待講演会, 2009年8月28日(金), 帝国ホテル大阪
- 21 亀井克之, 同族老舗企業の事業承継問題とRM—甲州ワインの戦略, 日本リスクマネジメント学会 西日本部会 ソーシャル・リスクマネジメント学会 合同研究会, 2010年3月15日(月), 沖縄大学
- 22 亀井克之, Family Business and Succession Issue (GESTION DES

RISQUES ET TRANSMISSION DES PME)(ファミリービジネスと事業承継問題), Symposium Entreprises Familiales : apports français et japonais Maison Franco-japonaise de Tokyo Japan Academy of Family Business, 2009年12月13日(日), 東京 恵比寿 日仏会館

- 23 亀井克之, ファミリービジネスと事業承継問題, ファミリービジネス学会・日本リスクマネジメント学会・日本リスク・プロフェッショナル学会合同研究会, 2009年5月29日(金), 甲南大学ネットワークキャンパス東京

〔図書〕(計2件)

- ① 亀井克之, リスクマネジメントの基礎理論と事例, 関西大学出版部, 2011年, 189p
- ② 亀井利明 亀井克之, リスクマネジメント総論 増補版, 同文館出版, 2009年, 266p

〔その他〕

ホームページ(下記のURLのサイトはすべてWEB マスターを務めている)

- ①科学研究費補助金「事業承継研究」のWEBサイト
http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/~kamei/business_succession.html
- ②小企業の事業承継・日仏シンポジウム」のWEBサイト
<http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/~kamei/colloque2011/index.html>
- ③ 本リスクマネジメント学会のWEBサイト
<http://http://www.jarms.jp/>

6. 研究組織

(1)研究代表者

亀井 克之(KAMEI KATSUYUKI)
 関西大学・社会安全学部・教授
 研究者番号: 10268328